

府中町ふるさと歴史散策

〔第50回〕

文化財としての地名⑬

昭和初期の町内会名(11)

石井城

昭和初期の頃の字名は古い歴史に基づいた所が多く、現在も生き続けている。今回は「石井城」について考えていくこととする。

(11) 字 石井城

「字 石井城」は府中町の北部の丘陵から南に向かつて緩やかに傾斜する地形に発達した歴史の古い集落である。

「この地は、国庁の所在地として、役人が軒を並べ、里人も当時海岸で船着き場もあったとされる『大道』に沿って多く住み、繁栄した所である。延久年間(1869年~1874年)に安芸国佐伯郡三宅村(現在の広島市佐伯区三宅)の佐伯資隆(田所家祖)が安芸国の国庁に移り、国司に代わって在庁政治を行った。その後、田所家は勢力を拡大し、田所家石井を名乗り、国庁の北に城を築き石井城と称した。これが石井城の地名の由来である。」(菅原守編『芸州府中荘誌』から、筆者が口語訳したもの。)

心とする地域である。石井城下には、かつて鶴江一丁目、二丁目、本町五丁目、四丁目北半分などの地域も含まれていた。小字名では、石井、坂井、鶴江、城ノ口、下久瀬、石井尻、出井、下岡田、早馬立、東川、中郷馬場などがある。

「字 石井城」には田所明神社(写真①) 石井城一丁目、出合清水(写真②) 石井城二丁目、石井城観音(鶴上寺)(写真③) 石井城二丁目、下久瀬の石灯籠(写真④) 石井城一丁目)などの名勝・史跡がある。出合清水は榎川の扇状地の扇端に湧出しており、近隣住民の生活用水として水天宮を祭り、大切にされてきた。昭和59年(1984年)に環境庁の名水百選に指定されたが、現在は飲用することはできない。

また、名前の由来となっている石井城址(写真⑤)は「字 江本寺」地区にある。現在、

在城郭らしい遺構は明瞭には残っていないが、城山の頂部に石井七郎末忠の碑が建立されている。

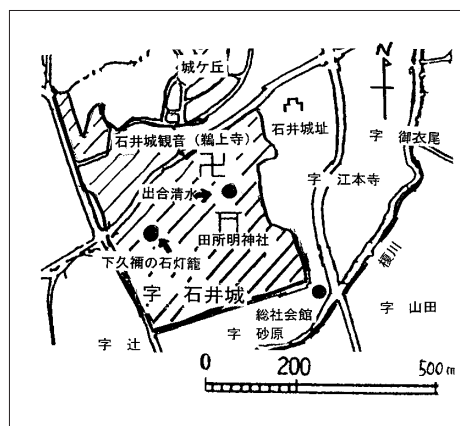
府中町文化財保護審議会委員

熊野 俊浩

問い合わせ

教育委員会生涯学習課

286-3272



地図 「字 石井城」(斜線の部分)とその周辺図



写真① 田所明神社



写真② 出合清水



写真③ 石井城観音(鶴上寺)



写真④ 下久瀬の石灯籠



写真⑤ 石井城址

人の動き

12月1日現在(前月比)

人口	51,930(-45)
男	25,574(-27)
女	26,356(-18)
世帯	21,475(-19)
面積	10.45km ²

町の花
つばき

町の木
くすのき

お悔やみ

(敬称略)

氏名(年齢)	住所	死亡日
河内 義光(81)	みくまり二丁目	11/1
俵 敬憲(81)	鹿籠二丁目	11/1
山中 政夫(89)	大通一丁目	11/5
高橋 順子(76)	瀬戸ハイム三丁目	11/7
田中 爲雄(94)	山田二丁目	11/7
松浦 慧美子(76)	緑ヶ丘	11/13
山崎 和彦(69)	清水ヶ丘	11/24
山崎 忠昌(70)	浜田一丁目	11/27
中村 ミハル(103)	瀬戸ハイム二丁目	11/28

※この「お悔やみ」欄には、「町広報紙掲載申出書」の提出があった場合のみ掲載しています。

問い合わせ

地域振興課広報公聴担当

286-3127

「広報ふちゅう」等のカセットテープ版・点字版のご案内

「広報ふちゅう」「議会だより」「ふれあい府中(社協だより)」のカセットテープ版・点字版を、希望者に無料で貸し出し・提供しています。

あなたのまわりの視覚に障害のある方に是非お知らせください。

申し込み・問い合わせ 府中町社会福祉協議会 ☎285-7278 FAX287-3467

